

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月29日 (2012.11.29)

【公表番号】特表2012-508747(P2012-508747A)

【公表日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-536436(P2011-536436)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/04 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月15日 (2012.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 反射位置

【表 1】

<u>2θ</u>
6.78
11.09
19.94
20.99
26.57
26.98
31.52

を有する X 線回析パターンにより特徴付けられる 3 - プロモ - 1 - ( 3 - クロロ - 2 - ピリジニル ) - N - [ 4 - シアノ - 2 - メチル - 6 - [ ( メチルアミノ ) カルボニル ] フェニル ] - 1 H - ピラゾール - 5 - カルボキサミドの多形体 A を製造する方法であって、水、n - ヘプタン、1 - クロロブタン、トルエン、1 - ブタノールおよび 1 - ペンタノールからなる群から選択される溶媒と、少なくとも 2 反射位置

【表 2】

<u>20</u>
7.43
9.89
18.68
19.36
22.16
23.09
25.70

を有する X 線回析パターンにより特徴付けられる 3 - プロモ - 1 - ( 3 - クロロ - 2 - ピリジニル ) - N - [ 4 - シアノ - 2 - メチル - 6 - [ ( メチルアミノ ) カルボニル ] フェニル ] - 1 H - ピラゾール - 5 - カルボキサミドの多形体 B とを含む混合物を約 40 ~ 溶媒の沸点の温度で加熱する工程を含む、上記方法。

## 【請求項 2】

溶媒が n - ヘプタンである、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 3】

溶媒がトルエンである、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 4】

溶媒が水である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 5】

多形体 B の質量に対して約 0.1 ~ 10 質量 % の多形体 A を加熱工程の前に混合物に添加する、請求項 4 に記載の方法。